

鋳物業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	17~18	自社工場内において、腰を曲げた姿勢でクランプ締め作業（カンロクを1kg弱のハンマーで叩く）をしていたところ、急に動けなくなり、その場に横になった。	33	30~49
5	12~13	金属加工の際、部品の固定に左足でペダルを踏んで操作時に重い扉を開閉するのに右脚（膝）を軸にしていたため負傷した。	51	1~9
6	18~19	第2工場ペッカー作業場で、コンベアから製品をパレットに移していた。手に持っていた製品が落ち、それを避けるため右足を後ろに避けた時、後にあったパレットの蓋に右踵をぶつけて負傷した。	27	100~299
7	11~12	作業中、鋳型を作る機械（高さ約2.75m）の上部にある砂補給タンクの中に砂が入っているかを確認するため、設置されている梯子をのぼり、床から約1m50cmの位置からタンク内を目視確認した。その後、下りようとしてバランスを崩し、足から飛び下り、左踵を骨折した。	61	1~9
7	8~9	工場塗装場で歩行中、床に敷いてある厚さ3mmのベニヤ板に躓き、転倒を避けるため踏ん張ったときに足を捻ってしまい、右足首を骨折した。	58	100~299
11	15~16	得意先において、トラック荷台の荷物の上に乗リシートを掛けている時、シートを広げていたらシートに足が引っ掛かり、荷台上に膝から落下し、左膝を負傷したものである。	46	10~29
12	5~6	工場ロードセンター東側発電機の燃料補給時に、トラックに積んだドラム缶から補給口までホースが届かなかったため、トラック荷台上でドラム缶の移動を行おうと	37	500~

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)